



こいで まど み けしき
小出さんがパリのホテルの窓から見た景色。
え がく まど
この絵、額ぶちがついとるでそれも窓みたいやろ、
え まど
そやで絵のなかの窓と、ひびきあってるわ。



こいでならしげ
小出 檣重 《パリ・ソナムラールの宿》
やど

がくげいいん
うさぎ、なんか学芸員みたいないいまわしで、
うさんくさいわ。
とお ちか かん
そやけど、遠くと近くの感じがよくでとるなあ。
たてもん か
それとな、ちょっとだけ建物、かたむいて描いて
あるやんか。そこがええわ。



おがわのり お ぎよそん なつ
小川 詮雄 《漁村の夏》

うみ み え す
こっちの海の見える絵、じわっと好きやわあ。
うち ちか けしき
ぼくの家近くの景色かなあ。
なつ あつ かん か
夏の暑い感じがよく描けとる。
え
あっ！この絵もちっとかたむいとる
とこあるわ。どこかわかる？

◇ い ち え ふた まど
うさぎはだれに入れ知恵されたかしらんけど「二つの窓」っていうのは、ちょっとポエム
かん こいで え たてもん すこ おがわ え すいへいせん
を感じさせるなあ。小出さんの絵は建物が少しかたむいって、小川さんの絵は水平線が
え かん
かたむいとる。それが、なんか絵にもぞもぞした感じをだしとってええなあ。ついでに言
おがわ え み え けん なきり ばしょ し か
うとくけど、小川さんの絵は三重県の波切という場所（知っとる？）で描いとる。
いってん べつ ひと か え おな か
もう一点、別の人が描いた絵も同じところから描いとるでさがしてな。